

イベント名：呼と浩特市高校生等受入れ

寄稿者： 高木美恵子

題名： 再 況

1月25日 朝 8時15分 東雨崎駅に 2人の高校生を  
送りました。 呼と浩特からの 思いがけない お容様  
でした。 生涯で初めての ホストファミリー です。

私たちにできるか 不安でしたが 色々な人の力を借りながら

何とか 3泊4日が 過ぎました。 日本語が分からない中国人と

中国語が全くダメな日本人が いっしょに衣食住を 共にする

ことの大変さは 身にしみましたが、 お互いの 努力で 何とか

なるものだと 実感しました。 コミュニケーションの ツールは 色々

あるものです。 ジェスチャーとか 筆談とか 下手くそな 英語。

そして スマホの 翻訳アプリ。 通し合った時の 喜びは 格別

でした。 彼女たちに 我が家で 過ごした 3日(4日)間の 感想

を 聞くことは できませんでした。 別れ際に ハグをして 彼女たち

の目に 浮んだ 涙を見た時、 お互いの 心は 通し合えたのだと

感じました。 貴重な 経験を させて いただきました。

※感想文・写真は、当協会の機関誌、ホームページに掲載させていただく場合があります。

掲載を希望されない場合は、以下にチェックをお願いします。

掲載しないでほしい。